第42巻8号2018年12月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2018 12月号

掲 示 板

マルチメディアデイジー図書講演会を開催

特定非営利活動法人 NaD（ナディ） 主催、当館共催の第12回マルチメディアデイジー図書講演会「ぼくも読めたよ デイジー教科書 Vol. ３」が12月２日（日）13時から16時30分、当館４階会議室で開かれます。インクルーシブ教育に関する大阪市教育委員会の取り組みや地域の小学校３校での事例紹介を聞き、質疑と情報交換を行います。午前10時30分から12時にはマルチメディアデイジー図書（教科書）再生についての個別相談会（予約制、先着５人）も。参加費500円。お問い合わせは当館電子書籍係（電話06-6441-1035）まで。

クリスマスチャリティコンサートにご参加を

当法人の後援団体・灯友会による盲導犬支援のためのクリスマスチャリティコンサートが12月16日（日）14時から、当館そばの北京料理徐園で開かれます。大阪音楽大学の学生で、全盲のソプラノ歌手辻本実里（みのり）さんと、ゴスペルグループ「ウェストサイドクワイヤ」の演奏。チケット3,500円（中華の軽食付き）。お申し込みは電話06-6961-5521の法人本部内、灯友会事務局まで。

ヘレン・ケラー女史記念行事、満席のお詫び

11月23・24日に大阪市中央公会堂で開催した「ヘレン・ケラー女史没後50年を偲んで」はお陰様で盛会裡に終わりましたが、24日午後の記念式典は超満員となり、多くのボランティアや支援者、利用者の皆様のお申込みをお断りして誠に申し訳ございませんでした。お詫び申し上げます。

年末年始の休館について

今年の仕事納めは12月28日、仕事始めは１月７日ですが、ボランティア活動とサービスは以下のように休ませていただきます。不統一で申し訳ありませんが、ご確認をお願いいたします。

階数・係 ＼ 日・曜		22 土	26 水	27 木	28 金	全館休館12月29日（土）～1月7日（月）	8 火	12 土
8	点字製作	○	○	○	○		全館開館	○
	電子書籍	休	○	○	休			休
7	デイジー	○	○	○	○			○
6	録音製作	※	○	○	○			休
5	サービス	○	○	休	休			○
別	図書情報	休	○	休	休			休
4	会 議 室	○	○	○	休			○
3	総 務 係	○	○	○	○			○

※は『週刊新潮』作業のみ開室

神戸アイセンター・ビジョンパークを見学し、ランチで交流

ボランティア友の会施設見学会で盛り沢山の体験

当センターボランティア友の会では、毎年秋に「施設見学会」を行い、研修と交流を深めています。今年は10月29日、神戸のポートアイランドに昨年12月開設された神戸アイセンター・ビジョンパークを訪問しました。友の会世話人の高階秀男さん(電子書籍製作係)に報告していただきます。

集合前に雨が降り心配しましたが、集合後は穏やかな秋の日差しとなりました。今年のボランティア友の会施設見学会は、ボランティア29人と職員４人の33人で、神戸アイセンター・ビジョンパークを見学しました。

ビジョンパークでは、全盲の方がコンシェルジュとして案内してくださり、神戸アイセンターの構成や活動について伺いました。

神戸アイセンター病院のこと＝最先端機器を使用しているが、特別な治療をするわけではなく標準治療のみで、紹介状は不要。

理研(理化学研究所)のこと＝神戸アイセンター病院と連携して、iPS細胞を使った最先端の網膜再生医療研究と治療を行っている。

公益社団法人NEXT VISIONのこと＝ビジョンパークを運営し、視覚障害者の社会復帰(参加)を進めているが、寄付で成り立っている。

「アイシー(isee!)運動」のこと＝NEXT VISIONが進めている運動で、主目的は「社会から支えられる」側だった視覚障害者に「社会を支える」側になってもらうこと。

などの説明がありました。

神戸アイセンター病院では、医師が患者に必要な支援をカードに書くと、患者はそのカードを持ってビジョンパークへ行き、自分に必要な支援を体験できるようになっています。

私たちもビジョンパークで、スマートスピーカー、暗闇でもカラーではっきり見えるメガネ、目の前の文字を音声で読み上げてくれる「オトングラス」などの説明・実演を受けました。

スマートスピーカーは、話しかけると反応して検索結果を教えてくれたり、翻訳してくれたりと、パソコンやスマホを使えない人にも有用な機器であると思いました。話しかけても、無視して反応しないこともありましたが･･･。

その後、リーディングエリア(情報に出会う

場)、シミュレーションエリア(教室や運転の体験の場)、アクティブエリア(体が動き心が躍る場)、リラクゼーションエリア(癒される場)、キッチンエリア(気づきと学びの場)を見学しました。アクティブエリアにはクライミングウォールがあり、見学終了後に、林田さんがアイマスクを付けて声の誘導で登り、視覚障害者がどのように登るのかを見せてくれました。(誘導するのが不慣れなため、的確な誘導ができず、完登するのに時間がかかってしまいました。)

アイセンターの詳細は、ぜひインターネットで「神戸アイセンター」「ネクストビジョン」「ビジョンパーク」などで検索して調べてください。そして、見えないことで困っておられる方に、このような素晴らしい施設のあることをお伝えいただければ幸いです。

最後は、参加者全員でアイシーポーズの記念撮影を行いました(写真上)。写真はビジョンパークのフェイスブックに掲載されましたが、「今日は日本ライトハウスのボランティアの方々が来てくださいました。笑顔でアイシーポーズ!」の説明がついています。

見学後に向かったのが、ポートアイランドにあるホテルパールシティ神戸のランチ。サラダ・オードブル・デザートなどのハーフブッフェで、メイン料理は魚でした。食べるのとおしゃべりで、あっという間の楽しい90分でした。

「てんやく広場」から「サピエ」まで、30年間の歩みと課題（1）
全視情協第44回・岐阜大会の基調報告から

前号でご紹介したように、今年は「マラケシュ条約」と「改正著作権法」の成立と共に、「サピエ」の母胎である「てんやく広場」が誕生して30周年という記念すべき年でもあります。これを記念し、10月25～26日、岐阜市で開催した第44回全国視覚障害者情報提供施設大会では、「『てんやく広場』誕生30周年～『サピエ』のさらなる充実と発展を目指して」をテーマに掲げ、私が理事長として基調講演を行いました。その内容を今号から２回に分けてご報告します。（館長　竹下 亘）

「てんやく広場」から「サピエ」までの歩み

1988年　「IBMてんやく広場」発足

「てんやく広場」は、日本アイ・ビー・エムの社会貢献事業として1988年（昭和63）年に誕生しました。同社は点訳ソフトを開発し、1991年までに全国101ヵ所の点字図書館やボランティア団体を「プリンティングセンター」として、PC1,500台と点字プリンターなどを寄贈。同社のホストPCと101センターをパソコン通信で結び、パソコン点訳の全国ネットワークを構築しました。

「広場」が革命的だったのは、一度に１冊しか作れなかった点字器や点字タイプによる点訳をパソコン点訳へ一気に転換し、全国に広めたに留まらず、全国の利用者とボランティア、施設・団体をパソコン通信で結び、サピエの原型を築いたことでした。その結果、当時の利用者からは「町角の本屋さんが帰ってきた」「“積ん読”の楽しみが得られた」と絶賛されました。

1994年　①個人利用者の点訳データの直接利用開始、②国立国会図書館「点字図書・録音図書総合目録」試験稼働

この２つの機能は画期的でした。①では個々の視覚障害者もPCで点字データを検索・入手できるようになり、②では全国の点字図書館等に所蔵されている点字・録音図書を検索し、貸出依頼できるようになりました（翌年開始の「オンラインリクエスト」で、貸出依頼がパソコン通信でできるようになりました）。これは今日のサピエでも基本となっている重要な機能です。

1996年　IBMから独立し、自主運営を開始

独立当初は技術面、財政面での自立の苦労が続きました。また1996年から当館がホスト事務局を引き受け（1998年から「ないーぶネット事務局」）、2010年のサピエ誕生まで担当しました。

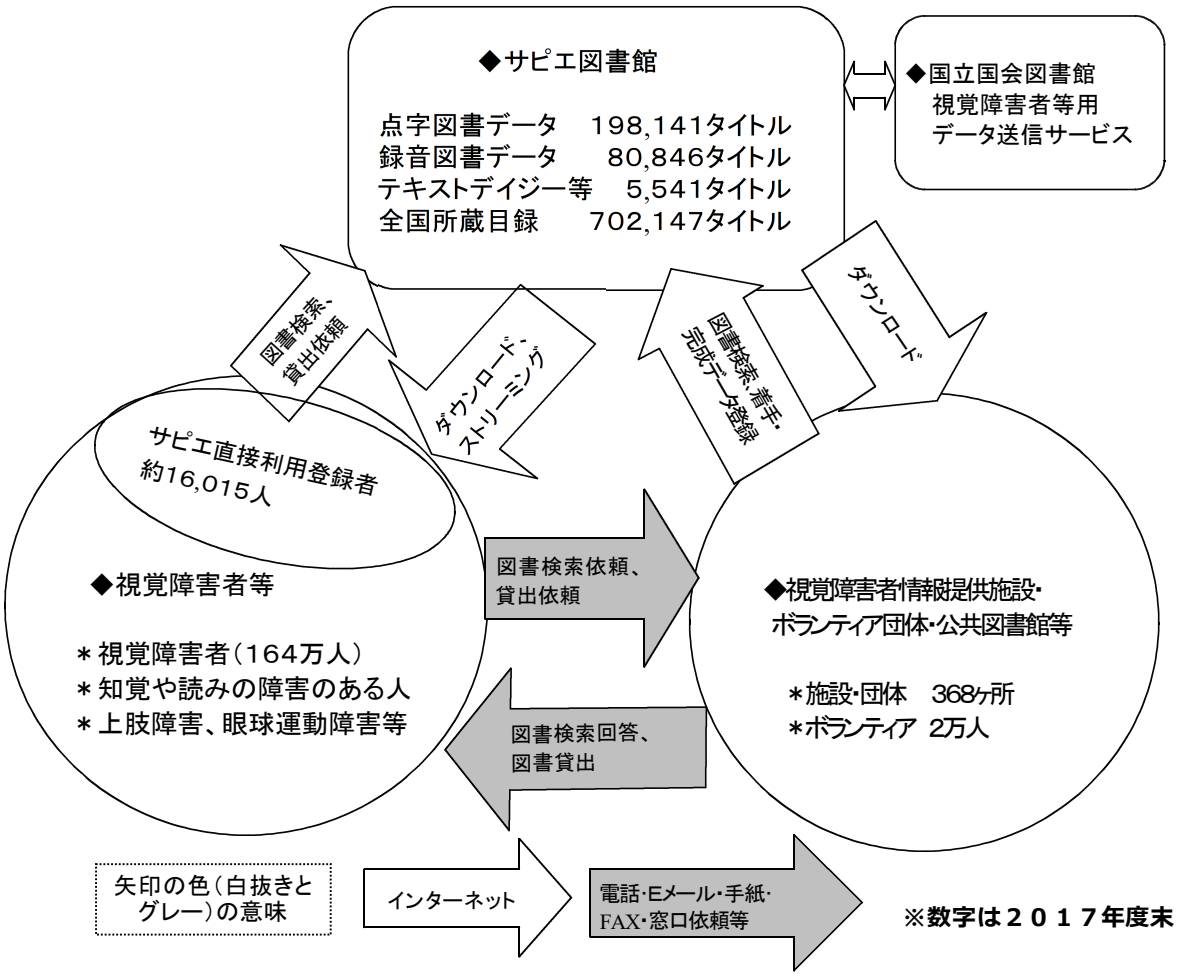
初期のIBMの点訳システム。点字ディスプレイの上に専用点字キーボードを載せて使用中

1998年　「ないーぶネット」に改称。全視情協が運営を担当／プレクストーク1号機発売／国の補正予算でデイジー図書製作・配付、再生機配付（～2001年）

この年は、録音図書のデジタル化元年となりました。合計3,181タイトルのテープ図書がデイジー化され、全国の点字図書館に配付（当館の録音ボランティアも約200タイトルを製作）。また発売されたばかりのデイジー再生機も８千台が全国の視覚障害者へ提供されました。デイジー図書はまだネット配信されませんでしたが、点字と音声のデジタル化の基盤が固まりました。

2001年　インターネット版「ないーぶネット」始動
2004年　「びぶりおネット」（デイジー録音図書のネット配信）を日点と当館が開始
2007年　著作権法改正で、録音図書データの公衆送信が認められる
2010年　国の補正予算で「サピエ」誕生（会員＝個人6,105人、205施設・団体）／テキスデイジー登録開始／著作権法改正で録音図書等の利用対象者拡大
2011年　マルチメディアデイジー登録開始
2014年　シネマ・デイジー登録開始

サピエの仕組み



「てんやく広場」から３０年間の到達点

前頁の2001年以降は駆け足になりましたが、必要な条件が着実に整備されて2010年のサピエ誕生に至りました。そして、サピエ誕生から８年が経ち、今日のサピエは上記の図に書き込んだとおり、会員施設・団体数まもなく400、支えるボランティア約２万人、視覚障害等の直接利用登録者１万６千人（点字図書館等を通しての利用登録者は約８万人）、登録データ合計約30万タイトル、年間のダウンロードタイトル数は点字75.1万、音声298.9万、テキストデイジー20.4万に達し、すべてが今も増え続けています。

こうして30年をかけて、情報共有を願う人と組織をデジタルとインターネットで結んだ、世界に類のないアクセシブルな図書館システムが実現したのです。

ここで改めて、サピエが30年間で到達した実績から、注目すべき数字を並べてみましょう。

◆サピエの年間製作点数は墨字書籍の２３％

墨字書籍の年間出版点数	78,113点＊
サピエの年間新着登録点数	17,946点※

＊総務省統計局2016年。

※サピエの登録点数の内訳は点字9,249点、録音7,263点、テキストデイジー1,394点、他。

◆個人利用登録者数は１０１倍

1994年度→2017年度	101倍
点字図書館の利用登録者	1.4倍

ダウンロード数2,５１５倍、他館貸出も１６倍

図書ダウンロード数	2,515倍
点字図書館の「館間」貸出数	16倍
点字図書館の「個人」貸出数	1.9倍

以上、少々大げさかも知れませんが、30年間でこれほど多くの利用者が多くの図書を利用できるようになったことは確かです。加えて点字図書館の利用も増えていることが注目されます。

次号では、「サピエ」の今後の課題を考えます。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2018年10月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

10月分完成点字図書

19タイトル59冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

英語長文レベル問題集
(安河内哲也他) 3冊
点・校：グループONE
京都・イケズの正体
(石川拓治) 3冊
点:宍戸邦栄
校:木村寿子 加尾美千子
琥珀糖のレシピ
(杉井・S・淑子) 1冊
点:増田芳子
校:G校正 笹川雅子
自分コンプレックス
(みうらかれん他) 2冊
点:笹川雅子
校:G校正 清水浩子
ＪＲニュース2018年11月号
(交通新聞社編) 3冊
点・校:金曜日グループ
習近平帝国の暗号2035
(中沢克二) 6冊
点:河村牧子
校:木村寿子 宗像真李子
ぜんぶ簡単どんぶり
(きじまりゅうた) 1冊
点:井上眉美
校:G校正 八木光子
洞察力(宮本慎也) 3冊
点:雪岡加奈子
校:G校正
Zwolf Sonaten fur Altblockflote und Basso contenuo Sonaten 1-3
(F・Veracini作曲) 1冊
同 4-6 1冊
同 7-9 1冊
同 10-12 1冊
点・校:４Ｆコモド
TOEIC L&Rテスト これだけは解く！プラチナ問題集(浜崎潤之輔監修)
10冊
点・校:有光美穂 坂和員子
杉島貴子 西岡貴美子
入試現代文へのアクセス完成編
(荒川久志他) 6冊
点・校:グループONE
「平均的日本人」がわかる138
(グループＳＫＩＴ) 4冊
点:華崎律子
校:G校正 平野 健
ほぼ命がけサメ図鑑(沼口麻子)
5冊
点:髙木智佳子・高橋淳子
校:G校正・平野 健
マクソーリーの素敵な酒場
(J・ミッチェル) 3冊
点:渡辺節子
校:松下柳子 平野 健
理科系の読書術(鎌田浩毅) 3冊
点:橋本和代
校:G校正 宗像真李子
ラリー・キング・ライブ・スペシャル
(English Express 編集部) 2冊
点・校:高橋世貴子 田中陽子

学校教材

中国語の世界 単語リスト
K大学 62ページ
点・校:大安徹雄 澤田祐子
春江由美子 前田美代子

♠ 録 音 製 作 ♠

10月分完成録音図書

７タイトル(書名、編著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

かかりつけ医の選び方
(神野哲夫) 3:03
音:弘津千加子 校:川端砂代子
志水節子 植田美穂子
編:山崎千代子
香薬師像の右手(貴田正子) 8:10
音:水野順子 校:伊東晴子
鳥山正彦 荒木良子
編:山崎千代子
心に届く話し方65のルール
(松本和也) 5:55
音:二宮真理 校:西村郁子
岩崎千佐子 編:山崎千代子
遠い国から来た少年3
(黒野伸一) 5:12
音:阪本由美子 校:長井純子
下山とよみ 編:山崎千代子
猫は、うれしかったことしか覚えていない(石黒由紀子) 3:37
音:辻野玲子 校:山田啓子
土井賀津子 編:植田美穂子
ミッシャ・マイスキー「わが真実」
(伊熊よし子) 8:46
音:羽田直美 校:有末 道
阪越紀子 編:山崎千代子
メジャーリーグ世界一の組織と選手たち(建山義紀) 5:36
音:野﨑淳子 校:浜本裕子
岡村佳子 植田美穂子
編:山崎千代子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

あなたも必ず伝道に成功する
(高木慶太) 2冊
点:福元悦子
「金平糖」第130回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦 校:若林安也子
レーベンスバウム
ハーブティーカタログ 1冊
点:河村牧子 校:木村寿子

録音図書

情熱チャンジャリータ
(ゲッツ板谷) 5:11
音・編:小林加代子

智慧の経営 不況を乗り越える
常勝企業のつくり方(大川隆法)
6:37
音:壁谷岑子　校:久保洋子
Panasonicライスブレッドクッカー
取扱説明書　3:35
音･編:植田美穂子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2018年11月号
発送:西垣泰子　山田一弘　木下正義

『読書』2018年11月号
デイジー版　0:59
音:寺下千秋　校:下山とよみ
発送:板波キミ　井川倭文子
宮野興子　並木昌子　宮崎ナオヨ

『アミ･ドゥ･ブライユ』点字版 第19号
点:梶原由美子　鴻上真理
南 佳奈　山根真紀子

『英語よもやま通信』
デイジー版2018年11月号 2:22
音･校･編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子　川端真知子　小林幸子
中島美穂　中原尚子　西和田惠子
野﨑淳子　前田元子　的場操代

『お役立ち目録 2018年11月号 ～お笑い～』
デイジー版　0:09
音:寺下千秋　校:下山とよみ

『子供の科学』
デイジー版 2018年9月号　3:25
音･校･編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子　岸田素子　吉川弘美
澤田美那子　夛田禮子　田中英子
土井明美　長田ひとみ　南浦京子
宮 清子　吉田 薫

『サイエンスかわら版』
デイジー版 2018年9月号　3:52
音･校･編:情報文化センター
「理数チーム」
小倉玲子　金井典子　久保洋子
橋本万里　福島博子　目連雅子
本村英子

『鍼灸OSAKA Vol.34 No.1 (2018　129号)』
デイジー版　11:55
音･校･編:情報文化センター
「東洋医学チーム」
荒木良子　岩崎千佐子　片岡珠子
金井典子　壁谷岑子　久保洋子
栗本慶子　佐々木マス子　佐山敦子
夛田禮子　長田ひとみ　野﨑淳子
濵名あきよ　浜本裕子　前川祐子
三上 菊　桃井輝子　渡辺一枝

『日経パソコン』
デイジー版 2018年10月号　4:57
音･校･編:情報文化センター
石井那智子　小倉玲子　片岡珠子
桂 公子　金井典子　川端真知子
北川温子　木村純子　小林幸子
坂口幸子　阪本由美子　三上 菊
佐々木マス子　佐山敦子　目連雅子
嶋川真理子　下山とよみ　夛田禮子
寺下千秋　寺田美枝子　西田芳美
西村郁子　二宮真理　橋本万里
浜本裕子　福島博子　前田元子
横山時子

『週刊新潮』デイジー版
◆2018年10月4日号　9:14
今岡松代　岡村勝彦　柏木和子
加藤紀美子　上田啓子　河原眞知子
衣田智恵美　木村加代　黒河典子
正田潤子　竹村京子　中村千賀子
中村直美　中本和代　西田文子
野村美穂子　東浦雅代　久富恭子
兵頭つね子　深津綾子　福田佳代
編:中本和代

◆2018年10月11日号　9:44
井尻府三重　大島幸枝　大脇朱美
長村明子　加藤和夫　上村裕子
坂口幸子　坂本雪枝　阪本由美子
佐藤公平　澤井 稔　八十嶋敦子
沢田玲子　地福延代　武市敦子
寺下千秋　島 美緒　西岡千代子
永井憲子　林 由子　平田惠美子
前田元子　増田典子　向髙寿子
山田啓子　山本スズ子
編:小森由紀子

◆2018年10月18日号　10:21
荒木節子　岩谷友子　大山節子
越智真弓子　北村優美子　帰村千恵
新熊美衛子　髙久俊子　詫摩多美子
田渕浩子　寺西竹子　当房公子
中本和代　成田由起　西村道子
西山トシ子　直場徳宥　橋本明子
服部秀美　藤澤元子　星子鐵郎
前田元子　松原和子　柳内登喜子
山下 豊　大和澄子
編:中本和代

◆2018年10月25日号　9:44
有川美津子　飯島令子　大里いずみ
大島幸枝　大塚しづ子　大森恵子
上村裕子　川添美智子　川端砂代子
久下悦子　小池雅子　坂田嘉子
佐藤圭子　佐藤公平　佐藤保子
澤井 稔　澤田由紀　沢田玲子
嶋津美香　嶋林茂子　関田通子
武市敦子　玉置明美　田宮加代
地上博子　塚本和江　坪田捷子
中地淳子　中村京子　橋村惠子
濵 洋一　兵頭賢一　平田惠美子
弘津千加子　前田元子　森口慶子
山田啓子　横山栄子　吉永英子
和田ゆう子
編:古跡眞知子

◆新潮音訳協力グループ:
八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN　デイジー大阪

☆ 電子書籍 ☆

～一ツ橋綜合財団助成事業～
マルチメディアデイジー図書をはじめとする当館の電子書籍は、公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

◆テキストデータ
点訳だより第1号
1954年 点訳の窓
1955年7月 点訳の窓
新田 優
窓 昭和47年10月第40号
窓 昭和47年12月第41号
木原富子
視覚障害リハビリテーション第24号
千徳節子 新田 優
視覚障害リハビリテーション第25号
新田 優 千徳節子

◆テキストDAISY図書
初めての障害者雇用の実務
ﾃｷｽﾄ校正･DAISY編集:森田敏子
DAISY校正:山田理子

◆プライベート製作
LPICレベル1スピードマスター
問題集
笠松幸彦 山城新一 軒原 修
中川幸子 加藤珠子
甦る翼の航跡
森 美恵子
伝統鍼灸第44巻第3号(通巻91号)
中川幸子

❦ 館内お手伝い ❦

図書･情報サービス
飯村康志 板波キミ 板谷照美
上田敬子 海上映一 小椋美智子
片岡忠克 木村謹治 帰村千恵
小寺高子 小林弘子 武部はつ子
塚本紀子 当房公子 野間絹子
逸見恵子 宮嶋昌代 宮野興子
森本益子 若槻敬子 渡邊洋子
[茨木市バラの会]
片倉康子 堂 晴美 永崎利恵

◆10月の貸出実績
点字 174tl DAISY 2889tl
テープ 36tl

★10月の人気貸出図書★
(当館製作図書。順不同。)
【点字図書】
懐かしのヒットソング大全集
疲れがとれて朝シャキーンと起きる方法(友野なお)
心とカラダを整えるおとなのための1分音読(山口謡司)
夜ふかしするほど面白い「月の話」(寺薗淳也)
【録音図書】
月下の剣客(武田櫂太郎)
忍びの乱蝶(富田祐弘)
通天閣物語(二鬼薫子)
霧幻の峠(武田櫂太郎)

電子書籍
池尻三千子 西村佐世子

情報システム
森田敏子

整理･情報サービス
板波キミ 板谷照美
鱗星千恵子

✎ 音 声 解 説 ✍
(ボイスぷらす)

◆シネマ･デイジー
「パパVS新しいパパ」
ナレーション:尾崎一恵
台本制作･編集:尾崎一恵
加藤由美子 中嶋真弓
台本校正:廣野美代子

◆製作協力
「ここにおるんじゃけぇ」
台本校正･ﾎﾞｲｽｵｰﾊﾞｰ:那須由美子

❣ 対面リーディング ❣

青木幹雄 秋本直美 兄井寿美子
荒河裕子 板谷照美 犬塚敬彦
上ノ山禎子 後 恵子 江口不二子
大西順子 岡﨑節子 荻野珠紀
奥井秀子 桂 公子 鎌田 潤
神谷考子 河内町子 河上千鶴
川端正子 栗山豊實 小池雅子
香西麻里子 古賀和子 小杉洋子
小林万智子 小山妙美 佐藤保子
澤井 稔 柴田智美 嶋津豊子
髙橋由紀江 田那辺優子 谷崎節子
田伏惠子 中西淳子 長岡彰子
奈良典子 西川真知子 野村京子
畠田幹子 福地京子 藤田佳子
麓 孜子 古木昭子 細井昌子
本荘一子 前田元子 増山多惠子
松谷富子 松田洋子 南 礼子
宮本和子 望月 明 森田幸子
森田 陞 安井和久 山内一子
山内紀代子 山崎 彰 山田栄利子
10月 利用者12人･63件
ボランティア60人

『対面リーディング通信』編集
木村謹治 澤井 稔 望月 明

✉ パソコンサポート ✉
(ボイスネット)

【10月実績】
例会:石川昌宏 伊藤 勇
阪本敏弘
来館:石川昌宏 大前雅司
木村朱美 中条正信
訪問:村上栄一
HP更新:中条正信
週報:阿佐和幸

❋ ご 寄 附 ❋

青木惠子 宮城かし子 本村英子
湯川欣晃
(敬称略をご容赦下さい)

対面リーディングボランティアの集い開催

今年度２回目となる当館対面リーディングボランティアの集いが11月８日午後開催され、16人が参加されました。第１部では「視覚に障害がある方も楽しめる映画について」をテーマに、林田主幹が講師を務め、シネマ・デイジーや音声解説を体験した後グループに分かれて実際の映像に解説をつけてみる実習を行いました。第２部は意見交換会として、対面リーディングの活動上困っていることなどを出し合い、交流を深めました。参加者からは、「音声解説の製作の仕方が新鮮だった」「対面で写真等の説明をする際の工夫に共通点があり、参考になった」などご好評を頂きました。

阪急電鉄が視覚障害者理解と接遇を研修

駅ホームでの転落事故が相次ぎ、視覚障害者が安全に鉄道を利用できる環境整備が求められる中、当館では阪急電鉄株式会社の依頼に応え、社員研修を受託。サービス部の岡田部長らが講師を担当し、視覚障害者の基本的理解と鉄道駅利用上の注意点、適切な声かけや誘導の仕方などについて、１回50分間の研修を延べ７回実施。同社の運輸部門の監督者と本社スタッフ合計600人が受講するという全国でも例のない大規模な研修となりました。同社の取り組みに敬意を表し、こうした研修が全国の公共交通機関に広まることを期待したいと思います。

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

ボランティア友の会世話人会報告

11月1日(木)10:00～11:45

出席者:小倉、大村、高階、橋本、増尾、雪岡、川添、小泉、三原。館から竹下、林田、松井。

〈館からの報告〉

・ヘレンケラー記念行事について

・点字制定記念日(11月１日)について

〈協議事項〉

・施設見学会の報告

・V友の会総会・交流会 検討

〈次回〉１月10日(木)10:00～11:00

あ ゆ み

【11月】

８日 対面リーディングボランティアの集い

10日 オープンデー(館内見学日、６人)

13日 見学:生活訓練等指導者養成課程

23･24日「ヘレン･ケラー女史没後50年を偲んで」(大阪市中央公会堂、全館休館)

28日 見学:朗読ボランティア陽声(城陽市)

29日 日盲社協･相談支援者研修会(～30日)

30日 法人理事･評議員会(本部)

予 定

【12月】

８日 オープンデー(館内見学日、要予約)

13日 近畿視情協ボランティア･職員研修会(玉水記念館)

22日 振替休館日(一部休業。詳細は１頁)

26日 図書貸出、機器･用具サービス最終日

28日 仕事納め

【１月】

７日 仕事始め(14時から休館:本部互礼会)

８日 全館ボランティア活動･サービス再開

編 集 母方の故郷、山形は果物の宝庫。

後 記 春から秋まで、桜桃、西瓜、葡萄、林檎、洋梨と空(飽)くことなく楽しめます。そんな中、最近虜になっているのは、葡萄の名産地高畠町(たかはたまち)で生産されている発泡性葡萄酒(「嘉(よし)」という名の２種類)。長年、スペイン産の CAVA(カバ) を愛飲してきましたが、はるかにフルーティで繊細です。ぜひ年末年始の祝宴などにご賞味下さい。(竹)

ONE BOOK ONE LIFE(ワン ブック ワン ライフ) 2018年12月号

発 行 社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 竹下 亘)

住 所 大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp

表紙絵 武部はつ子

発行日 2018年12月１日

定 価 1部100円 年間購読料1,000円